

□主な内容

【第 48 回EST創発セミナーin 伊勢を開催します！】

2月18日(火)に、EST 交通環境大賞で大賞(国土交通大臣賞)を受賞した三重県伊勢市で「観光客も生活者も地球にやさしく移動できる社会を目指して」と題して、第 48 回 EST 創発セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています！

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

【第 16 回アジア EST 地域フォーラムが開催されました】

環境省は、2024年12月10日～12日に、国際連合地域開発センター等との共催で「第 16 回アジア EST 地域フォーラム」を開催しました。日本からは、日本の EST に関連する政策(交通分野での大気汚染対策)や日本国内の地域における EST の事例(岩手県陸前高田市の取組み)等について紹介しました。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_04157.html](https://www.env.go.jp/press/press_04157.html)

【第 29 回地域バス交通活性化セミナー(岐阜)を開催します！】

2月28日(金)に岐阜市において、持続可能な公共交通ネットワークの再構築をテーマとして、第 29 回地域バス交通活性化セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

[https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/29th\\_seminar.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/29th_seminar.html)

□目次

1. ニュース／トピックス

- 第16回アジアEST地域フォーラムを開催しました【環境省】
- 消防・救助活動を円滑にするEVトラック・バスへの識別表示を行います！道路運送車両の保安基準等の一部改正について【国土交通省】
- 北海道においてSAF導入促進の実証事業を実施します ～将来のSAFサプライチェーン構築に資する取組み～【国土交通省】
- ゼロエミッション船等の建造促進事業の採択 ～次世代船舶の世界トップシェア獲得に向け、1200億円超の設備投資を促進～【国土交通省】
- 米沢市による「地域旅客運送サービス継続事業」の実施計画を認定【東北運輸局、米沢市】

- 山口県の日本版ライドシェア運行エリアが拡大します！～山口市、宇部市の営業区域で「日本版ライドシェア」を許可しました～【中国運輸局】
- AI 活用型オンデマンドバス「のるーと矢吹」の運行について【矢吹町】
- 塩尻市で自動運転レベル 4 の運行許可を取得【塩尻市、塩尻市振興公社、ティアフォー、アルピコ交通、アルピコタクシー、アイサンテクノロジー、A-Drive、損害保険ジャパン】
  
- 自動運転 EV バスの実証実験(富士みちルート)の実施について【富士吉田市、富士急行、富士急バス、BOLDLY】
- 平塚市における自動運転バス実証実験の実施【平塚市】
- 京田辺市における自動運転 EV バスの実証運行実施に参画しました【京田辺市、アイサンテクノロジー】
- 福山市における自動運転実証実験(試乗会)※再開します【福山市】
- 佐伯市大入島にて自動運転の実証実験を行っています！【佐伯市】
- 路線バスへの EV 導入に向けた冬期実証とモニター募集について【石川県、金沢市、北陸鉄道、北鉄金沢バス】
- 秋田市エリア交通(予約制乗合タクシー)の運行について【秋田市】
- 「日本版ライドシェア」の出発式が行われました【小千谷市】
- 2024 年度駒ヶ根市公共ライドシェア(meemo 駒ヶ根)実証実験を開始しました【駒ヶ根市】
- 北九州子どもミライシャトルプレ運行開始【北九州市、大英産業、scheme verge】
- 1 月 8 日より始動する“杉並区産 MaaS”に参画。小さい移動が大きい移動を生む地域活性化を目指して【ヴァル研究所、うさぎ企画】
- 八戸駅最終新幹線接続 深夜乗合タクシー「シンタクン」【シンタクン実行委員会】
- 「サステナ車両(8000 系)」運行開始が 2025 年 5 月末に決定！【西武鉄道】
- アルフレッサグループの CO<sub>2</sub>排出量削減をヤマトグループが支援 5 拠点に EV45 台を導入、エネルギーマネジメントも試験導入【アルフレッサ HD、ヤマト HD】
- チリ初の国産水素バス完成、官民連携で実現【JETRO】

## 2. イベント情報

- グリーン経営認証取得講習会【2025/2/12】
- 第 48 回 EST 創発セミナー in 伊勢〔中部〕～観光客も生活者も地球にやさしく移動できる社会を目指して～【2025/2/18】
- 鉄道コンテナ利用促進セミナー in 鹿児島 ～鉄道モーダルシフトの推進に向けて～【2025/2/20】
- バス利用感謝デー2024【2025/2/22】

## 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

## 1. ニュース／トピックス

### ●第16回アジアEST地域フォーラムを開催しました【環境省】

環境省は、アジア地域における環境的に持続可能な交通の実現に向けて、2024年12月10日～12日に、フィリピン共和国・マニラにおいて、国際連合地域開発センター等との共催で「第16回アジアEST地域フォーラム」を開催しました。

今回のフォーラムでは、各国のESTに関する政策の共有や幅広い意見交換とともに、第14回フォーラムで採択された愛知宣言2030の目標に対する各国の取組み状況についてフォローアップが実施されました。

日本からは、日本のESTに関連する政策（交通分野での大気汚染対策）や日本国内の地域におけるESTの事例（岩手県陸前高田市の取組み）等について紹介しました。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_04157.html](https://www.env.go.jp/press/press_04157.html)

### ●消防・救助活動を円滑にするEVトラック・バスへの識別表示を行います！道路運送車両の保安基準等の一部改正について【国土交通省】

国土交通省は、国連自動車基準調和世界フォーラムにおいて国連基準として成立したことを踏まえ、道路運送車両の保安基準等の一部改正を行います。

EVトラック・バスについては、2050年カーボンニュートラルに向け普及が進みつつある中、これらの車両事故が発生した場合、ディーゼル車とは異なる消防・救助活動が必要とされています。そのため、EVトラック・バスを対象として、外観から電気自動車であることを識別できるよう、2026年9月以降、段階的に新車にEV専用のラベルを表示することとします。

また、乗用車と同様、二輪自動車等においても電子制御による先進安全装置の装備が進んでおり、不正なアクセスを受けるリスクが高まっています。そのため、二輪自動車等を対象として、2029年7月以降、段階的に新車にサイバーセキュリティに関する基準を適用します。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10\\_hh\\_000319.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000319.html)

### ●北海道においてSAF導入促進の実証事業を実施します ～将来のSAFサプライチェーン構築に資する取組み～【国土交通省】

国土交通省は、航空分野の脱炭素化に欠かせないSAFの流通を促進する取組みの一環として、北海道において将来のSAFサプライチェーン構築に向けた空港への輸送及び給油に係る実証事業を行います。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku08\\_hh\\_000063.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku08_hh_000063.html)

### ●ゼロエミッション船等の建造促進事業の採択 ～次世代船舶の世界トップシェア獲得に向け、1200億円超の設備投資を促進～【国土交通省】

国土交通省は、環境省との連携の下、アンモニア・水素等を燃料とするゼロエミッション船等の建造促進事業について、16 件の事業の採択を決定しました。これにより、我が国造船・船用工業界において総額 1200 億円を超える生産設備等への投資が行われます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kajji05\\_hh\\_000286.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kajji05_hh_000286.html)

●米沢市による「地域旅客運送サービス継続事業」の実施計画を認定【東北運輸局、米沢市】

東北運輸局は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、「米沢市地域旅客運送サービス継続実施計画」を認定しました。認定により運航費に関する補助要件の緩和・重点的な支援など、計画に位置付けられた取組みについて様々な国の支援を受けることができます。

米沢市では、上郷地区と同市中心部を結ぶバス路線の廃止に伴い、米沢市の公募により、新たなサービス提供者(計 5 社)を選定し、デマンド型乗合タクシーにより運送サービスを継続する予定です。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000339101.pdf>

●山口県の日本版ライドシェア運行エリアが拡大します！ ～山口市、宇部市の営業区域で「日本版ライドシェア」を許可しました～【中国運輸局】

中国運輸局は、山口県の「山口市」及び「宇部市」の各営業区域において日本版ライドシェアの許可を行いました。

「日本版ライドシェア(自家用車活用事業)」は、タクシー事業者の管理の下で、タクシーを補完する目的で、地域の自家用車や一般ドライバーを活用して、タクシーが不足する曜日や時間帯において、有償で運送サービスを提供するものです。

[https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001\\_02163.html](https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02163.html)

●AI 活用型オンデマンドバス「のるーと矢吹」の運行について【矢吹町】

矢吹町は、2025 年 1 月 15 日より町内全域において、AI を活用したオンデマンド交通の運行を開始しました。

AI 活用型オンデマンドバス「のるーと矢吹」は、アプリや電話によりいつでも予約が可能となり、町内全域を乗換なしで目的地への移動を可能とする予約型乗合交通です。AI が予約の状況に応じてリアルタイムに運行ルートを考えながら効率的な運行をするため、従来のバスに比べ移動時間が短縮されるなど、利用者ニーズにあった利便性の高い公共交通としての運用が期待できます。

<https://www.town.yabuki.fukushima.jp/page/page010486.html>

●塩尻市で自動運転レベル 4 の運行許可を取得【塩尻市、塩尻市振興公社、ティアフォー、アルピコ交通、アルピコタクシー、アイサンテクノロジー、A-Drive、損害保険ジャパン】

ティアフォーは、塩尻市、塩尻市振興公社、アルピコ交通、アルピコタクシー、アイサンテクノロジー、A-Drive、損害保険ジャパンと共に、道路交通法に基づく特定自動運行の許可を取得しました。

ティアフォーは 2020 年度よりパートナー企業と協力し、塩尻市における自動運転移動サービスの実現に向けた取組みを進めており、2024 年 10 月に道路運送車両法に基づく自動運転システムのレベル 4 認可を取得し、さらに塩尻市内の公道において、上記システムを自動運転レベル 4 で運行する特定自動運行許可を取得しました。特定自動運行では、特定条件下で自動運転システムが全ての動的運転タスクを実施します。

本許可に基づき、塩尻市で自動運転レベル 4 の実証実験を実施しています。実証実験では、2025 年 1 月 23 日から 2 月 7 日にかけて、ティアフォー製「Minibus」を使用し、塩尻駅と塩尻市役所間の歩行者と一般車両が混在する一般公道を運行します。

[https://tier4.jp/media/detail/?sys\\_id=3UpRYDHrw0xAF65Esybu74&category=NEWS](https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=3UpRYDHrw0xAF65Esybu74&category=NEWS)

#### ●自動運転 EV バスの実証実験(富士みちルート)の実施について【富士吉田市、富士急行、富士急バス、BOLDLY】

富士吉田市は、新たな公共交通の提供による、交通インフラの維持と利便性の向上、持続可能なまちの実現を目指し、「富士みち」において自動運転 EV バスの実証実験を実施します。運行期間は、2025 年 1 月 31 日～2 月 28 日の計 29 日間です。

将来的な自動運転レベル 4 の社会実装を目標に、地域公共交通としての自動運転 EV バス車両の社会受容性や技術面での検証のほか、自動運転 EV バスの走行による周辺地域への訪日観光客回遊性の向上、地域産業への経済的波及効果の検証などを行います。

2024 年度の実証実験では、2023 年度の運行区間(下吉田駅～旧外川家住宅)から更に延伸し、市内循環ルートとして実験を行います。

<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/info/4871>

#### ●平塚市における自動運転バス実証実験の実施【平塚市】

平塚市では、自動運転による路線バス運行の社会実装を目指して、2023 年度から神奈川中央交通株式会社とともに、平塚駅南口エリアの既存バス路線(平 15 系統)と同様の走行ルートで、路線バス自動運転実証実験に取り組んでいます。

2024 年 12 月 24 日から 2025 年 1 月 20 日まで、既存路線バスへの自動運転車両の導入による、深刻化しているドライバー不足解消、市民生活に欠かせないバス路線の確保・維持などを目的とし、実証実験を実施しました。

これは、平塚市が神奈川中央交通株式会社、三菱商事株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、A-Drive 株式会社、いすゞ自動車株式会社と締結した「自動運転移動サービスを中心とした地域公共交通の DX 推進に係る連携協定」に基づきます。

[https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/machizukuri/page84\\_00063.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/machizukuri/page84_00063.html)

●京田辺市における自動運転 EV バスの実証運行実施に参画しました【京田辺市、アイサンテクノロジー】

アイサンテクノロジーは、京田辺市における自動運転 EV バスの自動運転レベル 2 の EV バス運行の実証に参画しました。

本実証は国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の採択を受け行うものになります。

<https://aisan-mobility.com/202412kyoutanabe/>

●福山市における自動運転実証実験(試乗会)※再開します【福山市】

福山市は、自動運転移動サービスの実現に向けて、バス型の自動運転車両による実証実験を実施し、併せて試乗会を行っています。

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/digital/353654.html>

●佐伯市大入島にて自動運転の実証実験を行っています！【佐伯市】

佐伯市は、コミュニティバス事業において、運転手不足等の将来的な諸課題を解決するため、自動運転バスの社会実装に向けた実証運行を行っています。

今回の大入島での自動運転バス実証運行によって、自動運転技術の検証や課題の把握に加えて、住民が自動運転への理解を深めることを目的とするものです。

<https://www.city.saiki.oita.jp/kiji00310029/index.html>

●路線バスへの EV 導入に向けた冬期実証とモニター募集について【石川県、金沢市、北陸鉄道、北鉄金沢バス】

石川県は、運輸部門の脱炭素化に向けて、バスの電動化を促進させるため、EV バスの冬期における実証運行を、2025 年 1 月 20 日～1 月 26 日、1 月 28 日～2 月 3 日で実施しています。

雪道での走破性や寒冷時の航続距離など、雪国における路線バスへの EV 導入に向けた課題を検証するとともに、車両の電動化や公共交通機関の利用に対する県民の普及啓発を図ります。

[https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/mobility/evbus\\_jissyyo.html](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/mobility/evbus_jissyyo.html)

●秋田市エリア交通(予約制乗合タクシー)の運行について【秋田市】

秋田市は、あらかじめ定められた乗降場所(バス停のようなもの)の間を、予約に応じて運行する新しい交通手段である「秋田市エリア交通」の実証運行を、市内 2 地区(土崎・將軍野・寺内地区、横森・桜・上北手地区)において、2025 年 1 月 21 日から 3 月 27 日まで行っています。

また、2023 年度実証運行を行った 3 地区(四ツ小屋・御所野地区、手形・旭川・広面地区、勝平・茨島地区)において、運行区域を拡大し、2024 年 12 月 25 日から運行を開始しています。

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/kotsu/1007422/1037012.html>

●「日本版ライドシェア」の出発式が行われました【小千谷市】

小千谷市は、タクシー運転手の減少により移動需要が満たせない曜日や時間帯があることから、地域交通の担い手不足を解消し、利用者の利便性確保を目的に、「日本版ライドシェア」を導入しました。県内で 2 例目、中越地区では初めての試みです。

運行開始に合わせて、小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」で出発式が行われました。

<https://www.city.ojiya.niigata.jp/soshiki/kikakuseisaku/rideshare-syuppatsu.html>

●2024 年度駒ヶ根市公共ライドシェア(meemo 駒ヶ根)実証実験を開始しました【駒ヶ根市】

駒ヶ根市は、既存の公共交通を補完し、地域全体の移動利便性を向上させるために、新たな公共交通手段「公共ライドシェア(meemo 駒ヶ根)」の導入に向けた実証実験を行っています。

<https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/kikakushinkoka/chiikishinkogakari/5/1/11784.html>

●北九州子どもミライシャトルプレ運行開始【北九州市、大英産業、scheme verge】

北九州市は、子どもの習い事の送り迎えを、子ども専用の乗り合いシャトルで行う実証実験を行っています。

エリアは、守恒エリアと折尾・ひびきのエリアで、対象エリア内の指定された乗降スポットでの乗り降りや、ジャンボタクシーが安全に進入できる場所においては、目的地までの送迎が可能です。

<https://horai.sv/kitakyushu>

●1 月 8 日より始動する“杉並区産 MaaS”に参画。小さい移動が大きい移動を生む地域活性化を目指して【ヴァル研究所、うさぎ企画】

株式会社ヴァル研究所と合同会社うさぎ企画は、杉並区が 2025 年 1 月 8 日より開始する「杉並区産 MaaS」プロジェクトに参画し、実証実験の設計・実施・運営支援や杉並区公式 LINE アカウントで利用できるアプリの開発提供等を行っています。

<https://www.val.co.jp/topics/20250108>

●八戸駅最終新幹線接続 深夜乗合タクシー「シタクン」【シタクン実行委員会】

シタクン実行委員会は、東京・仙台方面からの八戸駅着の最終新幹線に接続する予約制深夜乗合タクシー「シタクン」の実証試験を、2025年1月26日～2月20日まで実施します。

当日22時までの事前予約受付となり、ルートや料金は事前に設定されています。

[https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/public\\_transport/project/shintakun.html](https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/public_transport/project/shintakun.html)

●「サステナ車両(8000系)」運行開始が2025年5月末に決定！【西武鉄道】

西武鉄道株式会社は、環境負荷の少ない他社からの譲受車両「サステナ車両」のうち、2024年5月に小田急電鉄から譲受した車両(8000系)の運行開始を2025年5月末に決定しました。

「サステナ車両」1本目となる8000系は、2024年5月に小田急電鉄から譲受後、2024年7月1日より武蔵丘車両検修場にて、安全装置の更新や車両デザインの変更等を行っていましたが、主要な更新を終え、武蔵丘車両検修場を出場しました。

今後、運行開始に向けて西武線各路線で走行試験や試運転、乗務員訓練等を行うことから、当初の予定であった2024年度末の運行開始を2025年5月末に変更します。

[https://www.seiburailway.jp/file.jsp?newsroom/news/file/20250107\\_sasutenatrain2.pdf](https://www.seiburailway.jp/file.jsp?newsroom/news/file/20250107_sasutenatrain2.pdf)

●アルフレッサグループのCO<sub>2</sub>排出量削減をヤマトグループが支援 5拠点にEV45台を導入、エネルギーマネジメントも試験導入【アルフレッサHD、ヤマトHD】

アルフレッサ株式会社およびイーエル プラス株式会社と、ヤマトHD株式会社は、ヤマトオートワークス株式会社が提供する「EVライフサイクルサービス」を通じて、アルフレッサグループのCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取組みを加速させます。まずは、2024年12月18日から、アルフレッサとイーエル プラスの5拠点にEV45台を順次導入しています。

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/2784/ir\\_material15/242830/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/2784/ir_material15/242830/00.pdf)

●チリ初の国産水素バス完成、官民連携で実現【JETRO】

チリ国内で設計、開発、製造された水素を燃料として走行するバスの完成披露式典が12月11日に開催されました。

2023年12月に発表された官民連携による一大プロジェクトで、ゼロエミッション燃料の新しい活用方法の探求、チリ国内の水素バリューチェーンに関連する製造活動の促進、チリの産業分野におけるスタートアップの支援を目的としています。

投資総額は75万ドルに及び、チリの電力大手コルブン、英国の鉱業大手アングロ・アメリカン、チリ発スタートアップのリボン・エレクトリック・モーターズなどで構成される企業グループが主導役となり、産業振興公社などによる支援を受けて実現しました。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/3f8bd471a93f3f40.html>

---

## 2. イベント情報

### ●グリーン経営認証取得講習会

日時:「旅客船・内航海運・港湾運送・倉庫事業関係」

→2025年2月12日(水)10:00～12:00

「トラック・バス・タクシー事業関係」

→2025年2月12日(水)13:30～16:00

場所:オンライン開催

主催:国土交通省東北運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000340435.pdf>

### ●第48回EST創発セミナーin伊勢〔中部〕～観光客も生活者も地球にやさしく移動できる社会を目指して～

日時:2025年2月18日(火)14:20～17:50

場所:オレンジ伊勢 クラシックオレンジ

主催:国土交通省中部運輸局、伊勢市、EST普及推進委員会、(公財)エコモ財団

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

### ●鉄道コンテナ利用促進セミナーin鹿児島～鉄道モーダルシフトの推進に向けて～

日時:2025年2月20日(木)13:30～17:00

場所:座学→鹿児島港湾合同庁舎5階会議室

見学→JR貨物 鹿児島貨物ターミナル駅

主催:国土交通省九州運輸局、JR貨物九州支社

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000339521.pdf>

### ●バス利用感謝デー2024

日時:2025年2月22日(土)10:00～15:00

場所:ららぽーと海老名前 海老名駅西口プロムナード

主催:(一社)神奈川県バス協会

<https://blog.goo.ne.jp/kanabuskyo/e/9458884fa492af9d0d9a8b1879e7d675>

### ●第29回地域バス交通活性化セミナー「持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指して」

日時:令和7年2月28日(金) 13:20～16:50(12:50 受付開始)

場所:じゅうろくプラザ ホール

主催:国土交通省中部運輸局、(公財)エコモ財団

後 援:岐阜市

[https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/29th\\_seminar.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/29th_seminar.html)

---

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyuu/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecommo.or.jp](mailto:magazine@ecommo.or.jp)(担当: 岡本)

---

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>